

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんとうきょうしていふいはーもにつくかんげんがくだん 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団		団体ウェブサイトURL
			https://www.cityphil.jp/
代表者職・氏名	代表理事 志田 明子		
制作団体所在地	〒	135-0002	最寄り駅(バス停)
	東京都江東区住吉1-19-1-203		
電話番号	03-5624-4001		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんとうきょうしていふいはーもにつくかんげんがくだん 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団		団体ウェブサイトURL
			https://www.cityphil.jp/
代表者職・氏名	代表理事 志田 明子		
公演団体所在地	〒	135-0002	最寄り駅(バス停)
	東京都江東区住吉1-19-1-203		
制作団体 設立年月	2020年1月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表理事 志田 明子 ほか理事 5名 監事 1名		
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	西條 隆弘
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	渡邊 智子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	t.saijo@cityphil.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>令和2年1月16日付で一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を設立。設立者であり演奏団体である東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は、昭和50年自主運営のオーケストラとして設立された。その活動は年14回の定期演奏会を柱に、オペラ・バレエ公演やポップスコンサートのほか、映画音楽、テレビ出演、CD録音、音楽鑑賞教室まで多岐にわたる。平成6年には江東区と提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として各種コンサートや公開リハーサル、楽器の公開レッスン、音楽セミナーなど、地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。常任指揮者には平成9年9月より、ドイツ音楽、特にワーグナー指揮者として名高い飯守泰次郎が就任。また、平成14年4月にパリ在住の指揮者・矢崎彦太郎が首席客演指揮者に就任。フランス音楽を網羅した画期的なシリーズを展開し注目を集めた。平成24年4月より初代音楽監督に宮本文昭が就任した。平成27年4月より、高関健が常任指揮者に就任。平成31年4月より藤岡幸夫が首席客演指揮者に就任。</p>			
<p>学校等における公演実績</p>	<p>※別添「学校等における公演実績」</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成22年12月17日(金)東京都所沢特別支援学校(オーケストラ公演) 平成24年12月6日(木)東京都立墨東特別支援学校(室内楽公演) 平成25年2月27日(水)埼玉県立川越特別支援学校(オーケストラ公演) 平成27年10月7日(水)福岡県立築城特別支援学校(オーケストラ公演) 令和元年11月22日(金)東京都立墨東特別支援学校(室内楽公演) 令和3年12月16日(木)、20日(月)、22日(水)東京都立花畑学園(室内楽公演) 令和5年1月13日(金)東京都立城東特別支援学校(室内楽公演) 令和5年10月20日(金)富山県高岡支援学校(オーケストラ公演)</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/N6GFZC_pZhA</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	東京シティ・フィルと一緒にオーケストラの響きを楽しもう！			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>ビゼー:歌劇「カルメン」より前奏曲 ≪弦楽器のお話≫ モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章 ≪木管楽器のお話≫ チャイコフスキー:バレエ「白鳥の湖」より”情景” ≪金管楽器のお話≫ アンダーソン:トランペット吹きの休日 ≪打楽器のお話≫ ビゼー:「アルルの女」第2組曲より”ファランドール” ～休憩～ ≪指揮者体験コーナー≫ ブラームス:ハンガリー舞曲第5番 ≪共演プログラム≫ ビリーブ または 花は咲く スメタナ:交響詩「我が祖国」より”ヴルタヴァ” 学校校歌(オーケストラ編曲版)</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約90 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	身近にオーケストラを見て、聴いて、空気と床を伝わる音の振動と響きを体感していただけます。音楽の授業と関連付けて学習が捗るように、教科書で取り上げられる機会の多い作曲家の代表作を選択しました。また、楽器それぞれの音の違いがわかるように構成している為、より深くオーケストラを理解し、楽しんでいただける内容になっております。合唱曲や校歌での共演や、指揮者体験を通して、音楽による交流も図ります。			
演目選択理由	楽器のお話では弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器の4群について、それぞれの特徴を紹介するとともに音色も聴いていただけます。さらにそれぞれの群が特徴的な曲を演奏して、体系的にオーケストラの楽器に対する理解を深めていただくように構成しております。(ハープのみ単独の紹介をいたします)			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>◆合唱曲の共演 事前のワークショップでは共演のための合唱練習と指導をし、本公演では児童・生徒さんが練習の成果を発表します。</p> <p>◆指揮者の秘密を探る 代表者3名に実際に指揮を体験していただけます。70余名のオーケストラを指揮する機会は中々ありません。指揮台に立ち、指揮者の気持ちを実感することも貴重な経験になると思います。また、楽団員との音楽を通じたコミュニケーションをとることができます。</p>			
出演者	指揮者:1名 司会者:1名 オーケストラ:東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 65名 (2管12型)			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 67 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 6 名		車長: 9 m	
	合計: 73 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:30~10:30 ※11:30~12:30リハーサル	13:30~15:00	10分	15:00~16:30	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	2日	0日	9日	0日	
	11月	12月	1月	計	21日	
	3日	3日	4日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	全校児童・生徒
		鑑賞人数目安	全校児童・生徒

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)



※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校児童・生徒
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>指揮者(アドヴァイザー)やオーケストラの各楽器奏者数名とピアニストが参加します。 本公演の際にオーケストラをより身近に感じていただけるよう、オーケストラの解説や、普段使用している楽器の紹介をし、児童・生徒さんからの質問にもお答えします。そして、各楽器奏者によるミニコンサートで実際に音を聴いていただきます。 また、本公演で共演する合唱曲の練習と指導を実施いたします。</p> <p>《オーケストラって何だろう?》 25分 スクリーンを利用して、オーケストラについての特別授業を行います。 本公演の前に、オーケストラの事について深く知ってもらうためのプログラムです。</p> <p>《合唱曲指導》 20分 指揮者とピアニストによる合唱指導を行います。 本公演での共演がより充実したものになるよう、発生の仕方やフレーズの作り方などを指揮者が指導します。</p> <p>《ミニコンサート》 30分 演奏者3名(ピアノ1名、弦楽器1名、管楽器1名)によるミニコンサートを行います。 それぞれの楽器の魅力を楽しんでもらいます。指揮者による解説もあるので、音楽により深く親しんでもらえる内容です。</p> <p>《質問コーナー》 15分 プロの演奏家が、どんな質問にもお答えします。 演奏が上手くなるコツや、音楽家になるまでの道程など、夢を実現させた人生の先輩として、子供たちのお悩みにも真剣に向き合います。</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>授業単位2時限という貴重な時間を有効に利用して、オーケストラのイメージを持っていただくために、スライド映像の利用や、実際に管楽器のマウスピースやリードを利用して音の出る仕組みを解説してから聴いてもらう等の工夫をしています。 合唱の練習指導では歌うだけではなく、発声の仕組み・歌詞の意味を考えてみるというように、充実した時間を児童・生徒の皆さんと過ごせるような内容を実施いたします。 児童・生徒さんが一方的に話を聞くだけでなく、彼らからの質問や疑問に答えてお互いのコミュニケーションを図ることにより、更に本公演への興味・意欲が増すと思われれます。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>下記設備をお借りいたします。 ・ピアノ 1台 ・プロジェクター 1台 ・スクリーン 1台</p>		

本事業への申請理由

【公演団体名 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団】

①本事業に対する取り組み姿勢

この事業へは平成15年度(旧「本物の舞台芸術体験事業」)より積極的に取り組んでまいりました。

全国の子供たちに直にオーケストラの演奏を届けるという大変素晴らしいこの事業は、弊社にとりましても楽団員にとりましても大切な事業であると認識いたしております。

今までにお訪ねした多くの学校で、沢山の児童・生徒の皆さんとお会いしました。公演後には、感想文やお手紙をいただき、楽団員の励みとなっております。

私たちは児童・生徒の皆さんに音楽を届けに行くのですが、逆に楽団員がたくさんのお気持ちをいただき、感動して帰ることが度々ありました。

学校の体育館という、児童・生徒の皆さんにとっては、自分の日頃慣れ親しんだ環境の中で、オーケストラの音に触れ、新しいものを発見し、新鮮な響きを感じていただけるのは、とてもよい機会だと思います。日常という安心の中に非日常の期待感と緊張感が加わり、きっと貴重な体験となることと思います。

演目については、過去の実績に基づき検証と工夫を重ねております。楽員も常に新たな気持ちで積極的に公演に取り組んでおります。

この事業を通して、次世代の子供たちの豊かな心と想像力を育むためのお役に立ちたいと強く思っております。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

開催校の担当の先生方と密に連絡をとってお話を重ね、各学校の要望を積極的に取り入れる工夫と努力をしております。

また、実際の公演がどのような物かイメージしていただくために、過去の公演内容の映像や、写真などを先生に参考資料としてお渡ししています。

ワークショップの際には、必ず事務局員が1名以上同行し、ワークショップの補助をするとともに本公演についての具体的な打合せや会場の確認をいたします。

トラックの搬入経路などを実際に確認し、本公演が円滑に実施できるようにしております。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫